

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

阪神女性の集いコンサート「空の鳥を見なさい」

10/8(木) 開場13:00 / 開演13:30

ルネサンス クラシックス
会場：芦屋ルナ・ホール

手話通訳・
託児室あり

「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めること
もしません。それでも、あなたがたの天の父は養ってくださいます。
あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。」(聖書)



永井達基 ～ピアノ/サックス・アレンジ担当～

1998年生まれ。大阪府出身。東京藝術大学音楽学部卒業。
アートマネジメントを専攻し、在学時よりアートプロジェクトや
コンサート等イベントの企画・運営に携わる。教会でピアノの
演奏を務めるほか、各地でコンサートやライブに出演。

YouTubeで大人気のBGMを配信しているクリスチャン
グループ「Sora Tori(そらとり)」から、永井達基さんが
ソロ出演。心地よい癒しの音楽をお楽しみください。

工藤篤子賛美コンサート 10/18(日) 15:00～16:30

爽やかな秋の風とともに、やわらかく深みのある工藤篤子さんの歌声を、野田常喜さんのピアノでお届けします。

ホームページから
ライブ配信を
ご視聴いただけます。



工藤篤子(地中海ソプラノ)

札幌大谷短大音楽科卒業後、同短大音楽専攻
科・研究科修了。1983年、マドリッド国立高等声
楽院に留学。声質は地中海ソプラノで、オラトリ
オのソリストとして活躍。2000年、賛美伝道団体
「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」設立。



野田常喜(ピアノ)

大阪音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。京都に生ま
れ、演奏活動の他、レコーディング・アレンジ・作曲、
音楽家のサポートにも力を注いでいる。ジャンルを
超えた音楽性と心に深く語りかける瑞々しいピアノ
の音色には定評がある。

教会からのオススメの一冊

伝記漫画「三浦綾子」

高倉みどり・漫画 日本聖書協会・シナリオ
森下辰衛・監修 (日本聖書協会)

これまで何度か、著書や生き様を紹介してきた
三浦綾子さんの伝記が漫画になりました。

綾子さんが、北海道の塩狩峠を訪れる場面から、
本書は始まります。自著の小説「塩狩峠」のクライ
マックスでは、主人公が身を投じて客車の暴走を止め
ます。あの暴走する客車こそ、まさにかつての自分自身
の生き方だったと、彼女は思いを馳せます。

太平洋戦争の最中、小学校の教員だった彼女は、
お国のために命を捨てることは尊いことだと、子ども
たちに教えていました。ところが、終戦を迎え、彼女
が尊いと信じていたものは崩れ去りました。悩む彼女
をさらに肺結核が襲います。当時、結核は不治の
病と恐れられていました。自分の死を間近に感じな

がら、彼女はすっかり自暴自棄になり、自分など生き
ている価値はないと考えるようになっていました。
そんな彼女に、キリストの福音が伝えられます。最初
は心を頑なにし、拒絶していた彼女でしたが、やがて
心を開き、聖書を読むようになります。そして、自分
の中にある悪い心に気づき、それを悔い改めて、キリスト
を救い主と信じて、洗礼を受け、クリスチャンとなります。
その後、不思議なように身体が回復した彼女は、
新聞社の募集に投稿した小説「氷点」の一位入選を
きっかけに、小説家としての道を歩み始めます。そして、
その生涯を通じて、読みやすい文体で人々の心に
キリストの愛を伝え続けました。

本書は、わかりやすい漫画の
形態でありながら、綾子さんの生き様
が丁寧に描かれています。大人から
子どもまで、世代を問わずに読んで
いただきたい一冊です。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com



教会HP

礼拝動画

希望のダイヤル

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントの
キリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

晩夏から初秋に咲く葛の花 大きな葉の陰で ほのかに甘い香りがする



神様の牧場の羊

暑かった夏も過ぎ、少し過ごしやすい季節
になってきました。朝夕の秋の風が心を和ませ
てくれます。

この時期になると、一つの風景を目に浮か
べます。それは、牧草地で羊たちが草を食(は)
んでいる、なんともいえない情景です。忙しい
毎日を送っていると、時々ふと、そのようなのん
びりした所に身を置きたい衝動にかられます。

旧約聖書にこのような言葉があります。
「知れ。主こそ神。主が、私たちを造られた。
私たちは主のもの、主の民、その牧場(まきば)
の羊である」(詩篇100篇3節)。

私たち人間は、神様の手によって創造され
ました。神様が愛をこめて私たちを創ってくだ
さったのです。私たちは主のものです。ところが、
私たちは傲慢になり、神様のもとから離れ、
自分勝手な道を歩むようになりました。それが
罪です。聖書の言う罪とは、外に現れた犯罪と
いうより前に、天地を創造されたまことの神様

から離れてしまっている状態のことです。この
罪のために、私たちは滅びなければならなくな
りました。

しかし、私たちを愛していてくださる神様
は、私たちが滅びないようにと、イエス・キリスト
をこの世に送ってくださいました。キリストは
罪のない神の子でしたのに、むごい十字架に
かかって死なれました。罪びとの私たちの
身代わりでした。このキリストを信じるなら、
私たちがどんな人でも罪がゆるされ、神様の
もとに立ち返ることができます。再び主の牧場
に憩うことができる者となるのです。

神様の牧場には、真の平安があります。困難
がやってきても、あわてたり動揺したりしません。
キリストと一緒にいてくださいますから、安心
があります。

あなたもぜひ、キリストを信じて、たましい
の救いをいただいて、主の牧場の羊として、
平安のうちに歩んでください。



カワラナデシコ ― 万葉の時代から愛されている花 ―

カワラナデシコは 河原や里山の 開けた草地に生えている多年草で
初夏から秋にかけて 花を咲かせる 高さ50～80センチほどだ
ヤマトナデシコとも呼ばれているが

これが 日本人女性のたとえとして知られている
名前の由来は 撫でたくなるほど かわいらしい花ということで
「なでしこ」と付けられたという

花は直径3センチほどで 5枚の花弁の縁が 糸状に細かく裂けていて
繊細な美しさを作り出している

また 秋の七草のひとつである

万葉集で ^{ヤマノウエノオクラ} 山上憶良が 「秋の野に咲きたる花を
^{オヨビオ} 指折りて ^{ナナクサ} かき数ふれば 七種の花」と読んだ

その秋の七草は ^{ハギ} 「萩の花」 ^{オバナ} 尾花（現在のススキ） ^{クズバナ} 葛花 ^{ナデシコ} 撫子の花
^{オミナエシ} 女郎花 ^{フジバカマ} 藤袴 朝顔の花（現在のききょうの花）」である

カワラナデシコは 万葉集に数多く詠まれているが

枕草子や 小林一茶の俳句にも登場している

また 種子や花など 全草が生薬として

日本では古くから親しまれてきた花である

若者も^う倦み 疲れ 勇士もつまずき倒れようが

主に望みをおく人は 新たな力を得

鷺のように翼を張って上る

走っても弱ることなく 歩いても疲れない

イザヤ章40章（聖書）